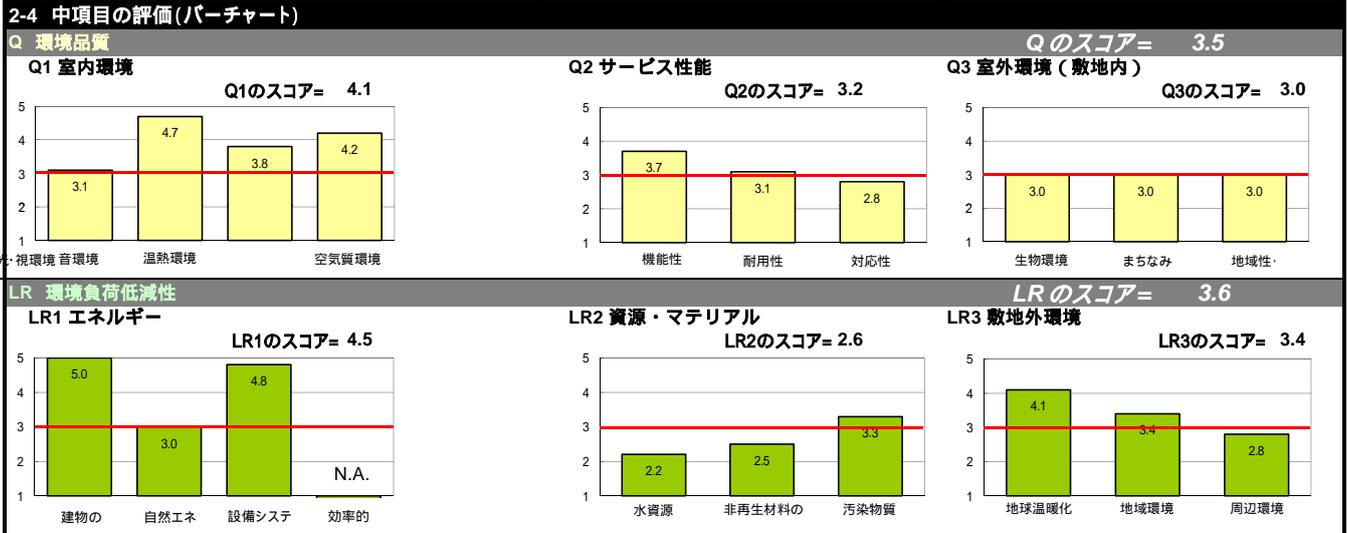
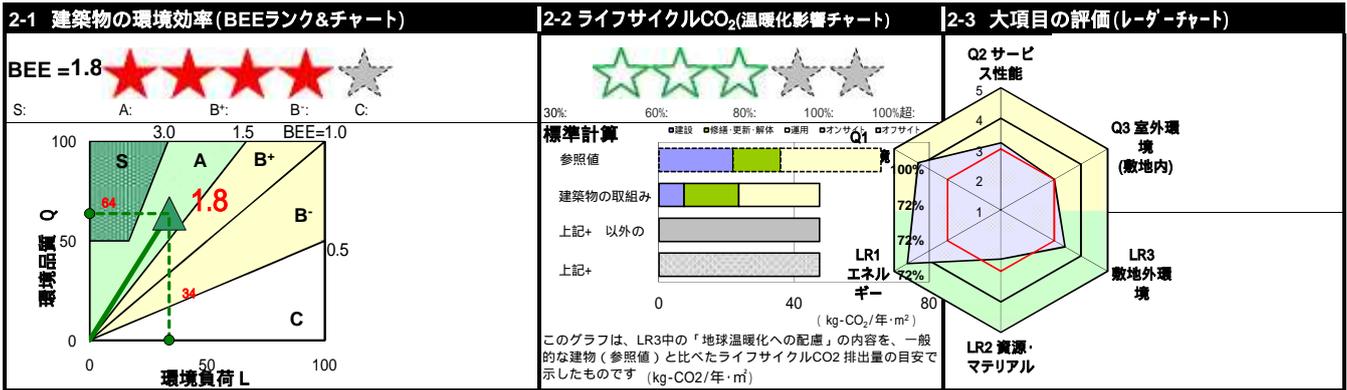


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚袖ヶ浜計画 新築工事	階数	地上5F		
建設地	平塚市袖ヶ浜90番155	構造	RC造		
用途地域	第一種中高層住居専用地域・準防火地域・第2種高度地区	平均居住人員	312 人		
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2013年1月17日		
敷地面積	3,807 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション		
延床面積	7,762 m ²	確認日	2013年1月18日		
		確認者	株式会社長谷工コーポレーション		



3 設計上の配慮事項		
総合 パルコニー側は縦格子手摺とガラス手摺を採用することで圧迫感を軽減し、周囲の環境への配慮に努めた。外壁はアースカラーを採用し、落ち着いたあるファサードとした。隠蔽梁を採用し、住戸の居住性を高めた。		その他 ・隠蔽梁の採用。
Q1 室内環境 ・省エネルギー対策等級4相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F VOCの放出が極めて少ない部材を採用。	Q2 サービス性能 ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。 ・災害時井戸水ろ過システムによる飲料水の確保を計画。	Q3 室外環境(敷地内) ・平塚市景観計画に適合した彩色とした。 ・周囲への長大感の軽減に配慮したコの字型の住棟配置とした。 ・北側に歩道状空地を設けるなどして道路境界から距離
LR1 エネルギー ・全ての住戸が二面以上の外皮に面する計画とし、自然エネルギーの直接利用に配慮した。 ・省エネルギー対策等級4相当。 ・潜熱回収型の給湯器を各住戸に設置し、エネルギーの消費削減に努めた。	LR2 資源・マテリアル ・節水型便器およびキッチンに節湯器具を採用。	LR3 敷地外環境 ・沿道緑化に努め、平塚市の緑化基準に適合。 ・平塚市の指導に基づいた雨水排水の流出抑制対策を実施。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される